

## 令和2年度 第2回地方独立行政法人徳島県鳴門病院評価委員会 議事録

日時：令和2年8月17日（月）19：30～20：35

場所：徳島グランヴィリオホテル 2階 蓬莱

出席者：（評価委員）稲井委員，香川委員，志摩委員，田中委員，土橋委員，吉田委員  
（鳴門病院）森理事長，邊見院長，堀内副院長，阿川副院長，遠藤事務局長，喜来看護局長，  
土居事務局次長，井上事務局次長，原田経営戦略課長，青木事務主任

### 議題(1) 令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果（案）について

### 議題(2) 第2期中期目標期間の終了時に見込まれる業務の実績に関する評価結果（案）について

- ・事務局より，資料1から資料4に基づき説明
- ・鳴門病院より，委員からの提出意見に係る質問事項について補足説明

### 議題(3) 第3期中期目標（案）について

- ・事務局より，資料5から資料7に基づき説明

### <質疑応答>

（委員長）

全体を通して何かご質問は。

（委員）

お願いとしては先程の，具体性ある中期計画を期待したいというのがすべてです。

私，この会に2年前から出ていますけれども，これでいいのかなと思っています。

もう少し具体的なものが，どれかやったからそれをどこかの成果に入れればいいという感じで，なんとなく納得いってないという事があります。具体的にどう言っているのかわかりませんが，まあ実際に何をやった，何をやったと，これはどこに入れたという事の説明が欲しいと思っていました。1つの事をこっちにも入れた，こっちにも入れたと，いう事ではなくて，具体的にこんな事を行ったのでこれは，この部分で良くなりました。とそういう計画にして欲しいなど。

もう1つこれ質問なんですけれども，県からリニアックとPET-CTで10億円の物を買って頂いたのですけれども，5億円は返却しなければならないという話だったと思うのですけれども，具体的にいつまでにその5億円は払うものなのでしょう。

（事務局）

平成30年度から県の長期貸付制度というのを開始しておりまして，委員の仰って頂いた通り，3年間で10億円の資金の貸付をさせて頂いておりまして，その資金を元に，リニアックやPET-CTを導入して頂いております。

償還につきましては，据え置き期間が1年ございますので，機器等を導入した翌々年度からの償還を開始して頂きまして，原則は耐用年数以内という事なので，5年なり，6年なりという事で，貸付金額の全額をまずは県の方に償還を頂きまして，その償還のあった金額に対して2分の1を県の方から運営費負担金という事で病院の方へ支出するといった形になります。基本的には耐用年数での償還とお考え頂けたらと思います。

(委員)

半分返すのではなくて、全部返して半分また戻すわ、という。

(事務局)

その通りです。

(委員)

非常に厳しいような気がします。分かりました、ありがとうございました。

(委員長)

今後作成する中期計画、少し具体性を盛り込んで頂いたら、良く分かるのではないのでしょうか。やはり数値化というのを皆さん言われる。非常に難しいところはあるんですけども、項目によっては数値化という事をきちんと書いて、それから成し遂げられたかどうかというのが、我々評価委員としては非常に分かりやすい。出来るだけ漠然とした表現ではなくて、具体性を持った表現にして欲しい。よろしくお願ひしたいと思います。他にございますか。

それでは、議題の1から3について、評価委員会として了承という事でよろしいでしょうか。

(各委員)

はい。

(委員長)

ありがとうございます。

以上